



令和2年3月以降、新型コロナウイルスの発生により「まちの保健室」活動はできませんでした。

感染状況を見極めできることを計画しても、中止となることがほとんどでしたが、できることを粛々と準備し、やっと2年越しの西播支部「まちの保健室研修会」を開催することができ、34名の参加がありました。

テーマ

「人生会議」アドバンス・ケア・プランニング患者の意向を尊重した意思決定支援

講師

姫路聖マリア病院 緩和ケア認定看護師 柳生 愛 氏



ACPの講演の後に、グループワークで実際に患者と看護師役で患者の思いを聞く場面を設定し、ロールプレイを行いました。ACPは結果ではなく、プロセスが大事ということがよくわかりました。患者さんやご家族の意思を尊重して看護を行っていくには、繰り返し話し合っていくことが大切なのだと感じました。

グループメンバーは、リーダー層が多く短い時間でコミュニケーションスキルを学ぶことができました。ACPは日々のケアの積み重ねであることがわかり、グループの皆さんの現場での体験を共感できました。グループワークは実体験の共有や、自身に置き換えて自分の家族と考えてみようという意見も出ました。



これからも地域に寄り添い
フェーズ2に向けた「まちの保健室」活動を
展開していきます！

